

授業科目名 成人看護方法論 I	第二看護学科 2年次 前期 1単位 (30時間)
-----------------	--------------------------------

I. 授業の目的・目標 (ねらい)

1) 循環機能障害、栄養摂取・排泄機能障害のある対象者の看護が理解できる。
2) 集中治療を受ける対象者の看護が理解できる。
3) 脳・神経機能障害、感覚機能障害、運動機能障害のある対象者の看護が理解できる。
4) 手術療法の看護が理解できる。

II. 授業計画

回	授 業 内 容	講義・演習	備考
1	循環機能障害のある対象者の看護 ① 循環器患者の特徴と看護の役割	講義・演習	
2	② 虚血性心疾患を持つ対象者		
3	③ 虚血性心疾患を持つ対象者 (心不全) 心臓リハビリテーション看護		
4	急激な身体侵襲により急性期にある対象者の看護		
5	栄養摂取・排泄機能障害のある対象者の看護 ① 胃がんで手術を受ける対象者		
6	② 胃がん・大腸がんで手術を受ける対象者		
7	③ 肝硬変の治療を受ける対象者		
8	感覚機能障害のある対象者の看護 ① 視力障害のある対象者 (網膜剥離) ② 聴力障害のある対象者 (慢性中耳炎)	講義・演習	
9	③ 皮膚障害のある対象者 (熱傷)		
10	脳・神経機能障害のある対象者の看護 (くも膜下出血・脳出血・脳梗塞・脳腫瘍・高次機能障害) ① 頭蓋内圧亢進のある対象者		
11	② 意識障害のある対象者		
12	③ 運動・言語障害のある対象者		
13	④ 摂食・嚥下障害のある対象者		
14	運動機能障害のある対象者の看護 ① 運動機能障害のある対象者の特徴と日常生活動作援助 (骨折、松葉杖)		
15	② 運動機能障害のある対象者 (腰椎椎間板ヘルニア・ 脊髄損傷)		

III. 使用テキスト・参考文献

系統看護学講座	専門分野Ⅱ	成人看護学	[3]	循環器	医学書院
系統看護学講座	専門分野Ⅱ	成人看護学	[5]	消化器	医学書院
系統看護学講座	専門分野Ⅱ	成人看護学	[7]	脳・神経	医学書院
系統看護学講座	専門分野Ⅱ	成人看護学	[10]	運動器	医学書院
系統看護学講座	専門分野Ⅱ	成人看護学	[12]	皮膚	医学書院
系統看護学講座	専門分野Ⅱ	成人看護学	[13]	眼	医学書院
系統看護学講座	専門分野Ⅱ	成人看護学	[14]	耳鼻咽喉	医学書院
系統看護学講座	別巻	臨床外科看護総論		クリティカルケア看護学	医学書院

IV. 成績評価の方法

筆記試験

授業科目名 成人看護方法論Ⅱ	第二看護学科
	2年次 前期
	1単位 (30時間)

I. 授業の目的・目標 (ねらい)

- 1) 内部環境調節機能障害、内分泌機能障害、排尿機能障害、性・生殖機能障害のある対象者の看護が理解できる。
- 2) 緩和ケアを受ける対象者への看護が理解できる。
- 3) 化学療法・放射線療法を受ける対象者への看護が理解できる。
- 4) 呼吸機能障害・身体防御機能障害 (血液) のある対象者の看護が理解できる。

II. 授業計画

回	授 業 内 容	講義・演習	備考
1	内部環境調節機能障害のある対象者の看護 ① 代謝機能障害のある対象者 (糖尿病)	講義	
2	② 代謝機能障害のある対象者 (糖尿病)		
3	内分泌機能障害のある対象者の看護 ① 内分泌調節障害のある対象者 (下垂体前葉疾患・甲状腺疾患)		
4	② 内分泌調節障害のある対象者 (副甲状腺疾患・副腎疾患・下垂体後葉疾患)		
5	排尿機能障害のある対象者の看護 ① 排尿機能障害のある対象者 (腎不全・透析)		
6	② 排尿機能障害のある対象者 (膀胱がん・尿路感染)		
7	性・生殖機能障害のある対象者の看護 手術療法を受ける対象者 (子宮がん・卵巣がん・乳がん)		
8	呼吸機能障害のある対象者の看護 ① 呼吸機能障害のある対象者の看護の概要 / COPDの ある対象者 / 手術療法を受ける対象者	講義・演習	
9	② 肺がんで化学療法・放射線療法を受ける対象者 (看護過程①)		
10	③ 肺がんで化学療法・放射線療法を受ける対象者 (看護過程②)		
11	④ 肺がんで化学療法・放射線療法を受ける対象者 (看護過程③)		
12	⑤ 呼吸機能障害のある対象者 (胸腔ドレナージ)		
13	緩和ケアを受ける対象者の看護		
14	身体防御機能障害 (血液) のある対象者の看護 (化学療法を含む) ① 生体防御機能の障害 (血液) のある対象者 (白血病)		
15	② 生体防御機能の障害 (血液) のある対象者 (悪性リンパ腫)		

III. 使用テキスト・参考文献

系統看護学講座	成人看護学 [2] 呼吸器	医学書院
系統看護学講座	成人看護学 [4] 血液・造血器	医学書院
系統看護学講座	成人看護学 [6] 内分泌・代謝	医学書院
系統看護学講座	成人看護学 [8] 腎・泌尿器	医学書院
系統看護学講座	成人看護学 [9] 女性生殖器	医学書院
系統看護学講座	別巻 臨床外科看護総論・クリティカルケア看護学	医学書院
系統看護学講座	別巻 がん看護学	医学書院
系統看護学講座	別巻 緩和ケア	医学書院

IV. 成績評価の方法

筆記試験、提出物、出席状況

授業科目名 老年看護方法論 I	第二看護学科 2年次 前期 1単位 (30時間)
-----------------	--------------------------------

I. 授業の目的・目標 (ねらい)

目的 高齢者の特徴を考慮した日常生活の援助方法について理解する。
目標 1) 高齢者に特徴的な疾患とその看護について理解できる。

II. 授業計画

回	授 業 内 容	講義・演習	備考
1	高齢者とのコミュニケーション・活動・睡眠	講義	
2	高齢者の食事		
3	高齢者の清潔・衣生活		
4	高齢者の排泄		
5	健康障害のある高齢者とその家族の理解		
6	薬物療法を受ける高齢者とその家族の理解		
7	周手術期にある高齢者の看護：術後せん妄		
8	脳神経：パーキンソン症候群		
9	感染症：インフルエンザ・ノロウイルス		
10	泌尿器：前立腺肥大症・前立腺がん		
11	運 骨粗鬆症・骨折		
12	動 大腿骨頸部骨折		
13	器 変形性股関節症・変形性膝関節症		
14	呼吸器：肺炎		
15	感覚器：白内障・緑内障・点眼指導		

III. 使用テキスト・参考文献

系統看護学講座 専門分野 老年看護学 医学書院
系統看護学講座 専門分野 老年看護病態・疾患論 医学書院

IV. 成績評価の方法

筆記試験

授業科目名 老年看護方法論Ⅱ

第二看護学科
2年次 後期
1単位(30時間)

I. 授業の目的・目標 (ねらい)

目的	高齢者への身体可動性障害による心身の影響と看護について理解する。
目標	1) 寝たきりを予防するための移動能力を高める方法について理解できる。 2) 身体可動性障害にある高齢者のケアシステム・介護する家族の支援方法について理解できる。 3) 認知症高齢者の機能に合わせた日常生活の方法について理解できる。 4) 認知症高齢者の心身の活性化について具体的な方法と対象へ影響を考える事ができる。 5) 認知症の症状や行動障害への原因を考え、人権擁護と個別の対処方法が理解できる。 6) 老年期の患者の看護過程の視点・方法について理解できる。 7) 事例にあったおむつ交換が実施できる。

II. 授業計画

回	授 業 内 容	講義・演習	備考
1	身体可動性障害について	講義	
2	身体可動性障害の回復・自立支援		
3	身体可動性障害の予防技術		
4	認知症：病態と要因、治療と援助		
5	認知症：評価方法、治療と援助		
6	認知症：権利擁護のための社会資源		
7	看護過程：対象者の理解①情報分析	講義・演習	
8	看護過程：アセスメント②		
9	看護過程：アセスメント③		
10	看護過程：アセスメント・問題の明確化④		
11	看護過程：看護計画・看護目標・期待する結果・具体策⑤		
12	看護過程：実施・評価⑥		
13	看護過程に基づいたおむつ交換①	講義・演習	
14	看護過程に基づいたおむつ交換②		
15	看護過程に基づいたおむつ交換③		

III. 使用テキスト・参考文献

系統看護学講座 専門分野 老年看護学 医学書院
系統看護学講座 専門分野 老年看護病態・疾患論 医学書院

IV. 成績評価の方法

筆記試験、技術試験、提出物

授業科目名 小児看護総論	第二看護学科 2年次 前期 1単位(30時間)
--------------	-------------------------------

I. 授業の目的・目標 (ねらい)

目的：小児看護の特徴と小児看護の対象を理解する。

目標：1) 小児看護の特徴・理念が理解できる。

2) 小児各期の特徴と、子どもの成長・発達に応じた養護のあり方が理解できる。

II. 授業計画

回	授業内容	講義・演習	備考
1	小児看護学の構成、子どもとは	講義・演習	グループワーク(I BL)
2	小児看護の特徴と理念		
3	子どもの成長・発達①		
4	子どもの成長・発達②		
5	子どもの成長・発達③		
6	新生児・乳児①		
7	新生児・乳児②		
8	幼児・学童①		
9	幼児・学童②		
10	思春期・青年期の子ども		
11	家族の特徴とアセスメント		
12	子どもと家族を取り巻く社会		
13	子どもの虐待と看護		
14	子どもの栄養		
15	子どもの栄養		

III. 使用テキスト・参考文献

系統看護学講座 専門分野 小児看護学 [1] 小児看護学概論 小児臨床看護総論 医学書院

IV. 成績評価の方法

レポート、筆記試験

授業科目名 小児看護方法論 I	第二看護学科 2年次 後期 1単位 (30時間)
-----------------	--------------------------------

I. 授業の目的・目標 (ねらい)

目的：小児期に特有の疾患、罹患率の高い疾患、問題となりやすい疾患について理解できる。

目標：1) こどもに特徴的な疾患の症状、治療、検査について理解できる。
2) 症状別看護、検査・処置時の看護、こどものアセスメント方法について理解できる。

II. 授業計画

回	授 業 内 容	講義・演習	備考
1	染色体異常、代謝異常	講義	
2	アレルギー、感染症		
3	呼吸器疾患、循環器疾患		
4	川崎病、消化器疾患		
5	血液疾患、腫瘍疾患		
6	腎疾患、神経疾患		
7	精神疾患、事故・外傷、虐待		
8	医療的処置が必要な新生児の看護	講義・演習	
9	プレパレーション		
10	子どものアセスメント		
11	子どものアセスメント		
12	検査・処置を受ける子どもの看護①		
13	検査・処置を受ける子どもの看護② (救命処置) 事故・外傷と看護		
14	症状を示す子どもの看護①		
15	症状を示す子どもの看護②		

III. 使用テキスト・参考文献

系統看護学講座 専門分野 小児看護学 [1] 小児看護学概論 小児臨床看護総論 医学書院
 系統看護学講座 専門分野 小児看護学 [2] 小児臨床看護各論 医学書院
 根拠と事故防止からみた 小児看護技術 医学書院

IV. 成績評価の方法

レポート、筆記試験、出席状況

授業科目名 小児看護方法論Ⅱ	第二看護学科 2年次 後期 1単位（30時間）
----------------	-------------------------------

I. 授業の目的・目標（ねらい）

<p>目的：こどもに特徴的な疾患の看護について理解する。</p> <p>目標：1) さまざまな健康レベルや状況に応じたこどもの看護が理解できる。 2) 家族への看護の必要性和実際が理解できる。 3) こどもに特徴的な疾患の看護が理解できる。 4) 状態に応じて必要な看護援助が理解できる。</p>
--

II. 授業計画

回	授 業 内 容	講義・演習	備考
1	病気・障がいを持つ子どもと家族の看護 障害（知的障害等も含む）のある子どもと家族の看護	講義・演習	
2	子どもの状況（環境）に特徴づけられる看護		
3	こどもにおける疾病の経過と看護		
4	事例1：鼠経ヘルニア アセスメントの視点、看護の考え方		
5	事例1：鼠経ヘルニア アセスメントの視点、看護の考え方		
6	事例1：鼠経ヘルニア アセスメントの視点、看護の考え方		
7	事例2：気管支喘息		
8	事例3：1型糖尿病		
9	事例4：白血病		
10	事例5：二分脊椎		
11	事例6：川崎病 アセスメントの視点		
12	事例6：川崎病（看護演習） アセスメント、問題点の抽出、計画立案		
13	事例6：川崎病（看護演習） アセスメント、問題点の抽出、計画立案		
14	技術演習（吸入、輸液管理）		
15	技術演習（フィジカルアセスメント）		

III. 使用テキスト・参考文献

系統看護学講座 専門分野 小児看護学 [1] 小児看護学概論 小児臨床看護総論 医学書院 系統看護学講座 専門分野 小児看護学 [2] 小児臨床看護各論 医学書院 根拠と事故防止からみた 小児看護技術 医学書院

IV. 成績評価の方法

看護過程、レポート、提出物、筆記試験 等

授業科目名 母性看護総論	第二看護学科 2年次 前期 1単位(30時間)
--------------	-------------------------------

I. 授業の目的・目標 (ねらい)

目的	1) 母性看護の対象を理解する。 2) 母性看護の目的を理解する。
目標	1) 母性看護の基盤となる概念を理解する。 2) 母性看護を必要とする対象と社会的背景を理解する。 3) 母性のライフサイクルにおける各期の特徴と、看護の役割を理解する。 4) 母性看護の課題・役割を理解する。 5) 母子保健指導において必要な技術が習得できる。

II. 授業計画

回	授 業 内 容	講義・演習	備考
1	リプロダクティブ・ヘルスに関する概念	講義	
2	対象理解の基盤となる概念 看護の基盤となる概念		
3	生殖に関する生理 リプロダクティブ・ヘルスに関する倫理		
4	リプロダクティブ・ヘルスに関する倫理		
5	リプロダクティブ・ヘルスに関する法や施策と支援		
6	母子保健法に関する施策の活用 子育て支援に関する施策の活用 周産期医療のシステム		
7	リプロダクティブ・ヘルスに関する世界・日本の動向		
8	女性のライフサイクル各期における看護 思春期・成熟期女性の健康課題		
9	思春期・成熟期女性の健康課題		
10	更年期・老年期女性の健康課題		
11	更年期・老年期女性の健康課題	講義・演習	看護技術
12	褥婦と家族への看護		
13	褥婦と家族への看護		
14	早期新生児と家族への看護		
15	早期新生児清潔援助技術		

III. 使用テキスト・参考文献

系統看護学講座 専門分野	母性看護学[1]	母性看護概論	医学書院
系統看護学講座 専門分野	母性看護学[2]	母性看護学各論	医学書院

IV. 成績評価の方法

レポート、筆記試験

授業科目名 母性看護方法論 I	第二看護学科 2年次 前期 1単位 (30時間)
-----------------	--------------------------------

I. 授業の目的・目標 (ねらい)

目的	1) 周産期の生理と異常について理解できる (妊娠期・分娩期)。 2) 周産期に必要な看護について理解できる。
目標	1) 周産期の生理的経過を学び、正常妊・産婦の看護・保健指導が理解できる。 2) 異常妊娠・異常分娩を学び、妊婦・産婦の看護が理解できる。

II. 授業計画

回	授 業 内 容	講義・演習	備考
1	正常な妊娠の経過	講義	
2	正常な妊娠の経過		
3	妊婦・胎児の健康と生活のアセスメント		
4	妊婦・胎児の健康と生活のアセスメント		
5	妊婦と家族への看護		
6	妊婦と家族への看護		
7	正常な分娩の経過		
8	正常な分娩の経過		
9	産婦・胎児の健康のアセスメント		
10	産婦・胎児の健康のアセスメント		
11	産婦と家族への看護		
12	妊娠期の健康問題に対する看護		
13	妊娠期の健康問題に対する看護		
14	分娩期の健康問題に対する看護		
15	分娩期の健康問題に対する看護		

III. 使用テキスト・参考文献

系統看護学講座 専門分野 母性看護学[2] 母性看護学各論 医学書院

IV. 成績評価の方法

筆記試験、小テスト

授業科目名 母性看護方法論Ⅱ

第二看護学科
2年次 後期
1単位(30時間)

I. 授業の目的・目標(ねらい)

- 目的 1) 周産期の生理と異常について理解できる(産褥期・新生児)。
2) 周産期の援助技術を習得する。
- 目標 1) 産褥・新生児の生理と異常が理解できる。
2) 産褥・新生児の看護が理解できる。
3) 正常な褥婦の看護の実際が理解できる。

II. 授業計画

回	授業内容	講義・演習	備考
1	正常な産褥の経過	講義	
2	褥婦の健康と生活のアセスメント		
3	褥婦の健康と生活のアセスメント		
4	褥婦と家族への看護		
5	褥婦と家族への看護		
6	産褥期の健康問題に対する看護		
7	産褥期の健康問題に対する看護		
8	早期新生児の特徴と生理的变化		
9	早期新生児の健康と発育のアセスメント		
10	早期新生児と家族への看護		
11	早期新生児の健康問題に対する看護	演習	看護過程
12	褥婦と家族への看護		
13	褥婦と家族への看護		
14	褥婦と家族への看護		
15	褥婦と家族への看護		

III. 使用テキスト・参考文献

系統看護学講座 専門分野 母性看護学[2] 母性看護学各論 医学書院

IV. 成績評価の方法

小テスト、筆記試験、看護過程演習及び提出物、参加状況の総合的評価

授業科目名 精神看護総論	第二看護学科 2年次 前期 1単位 (30時間)
--------------	--------------------------------

I. 授業の目的・目標 (ねらい)

目的	1) 心の健康について理解する。 2) 社会における精神保健上の問題を理解する。 3) 精神医療の変遷とともに法律や制度を理解する。 4) 精神看護の基盤となる援助関係の構築について理解する。
目標	1) 心の健康に関連する知識が理解できる。 2) ライフステージにおける心理・社会的発達を理解できる。 3) 社会の動向に関連する精神保健上の問題が理解できる。 4) リエゾン精神看護について理解できる。 5) 看護師のメンタルヘルスについて理解できる。 6) 精神医療の変遷から精神障害者の権利擁護について理解できる。 7) 精神医療・保健・福祉に関連する法律や制度が理解できる。 8) 援助関係の構築に関する理論と方法が理解できる。

II. 授業計画

回	授 業 内 容	講義・演習	備考
1	心の健康 防衛機制	講義	
2	適応理論 危機 ストレスと対処		
3	看護師のメンタルヘルス 災害と精神保健		
4	ライフサイクルと精神保健		
5	諸外国における精神医療の歴史		
6	日本における精神医療の歴史		
7	精神保健福祉法		
8	人権擁護 心神喪失者等医療観察法		
9	精神保健に関する社会問題とその法律		
10	(虐待防止に関する法律、自殺対策基本法)		
11	行政機関：精神保健福祉センターの役割と活動内容		
12	リエゾン精神看護		
13	信頼関係の基盤づくり：観察 治療的コミュニケーション技法		
14	プロセスレコードの活用		
15	患者－看護師関係の発展と終結		

III. 使用テキスト・参考文献

精神看護学 I・II 南江堂

IV. 成績評価の方法

筆記試験、提出物等

授業科目名 精神看護方法論 I	第二看護学科 2年次 前期 1単位 (30時間)
-----------------	--------------------------------

I. 授業の目的・目標 (ねらい)

目的	1) 主な精神疾患について理解する。 2) 精神疾患患者の治療における看護を理解する。 3) 精神症状や状態像への看護を理解する。
目標	1) 精神機能とその障害が理解できる。 2) 精神疾患の要因、症状、検査、治療が理解できる。 3) 精神疾患患者への薬物療法・作業療法の看護が理解できる。 4) 精神症状や状態像を把握する方法とその看護が理解できる。

II. 授業計画

回	授業内容	講義・演習	備考
1	精神疾患の診断・分類、精神症候群	講義	
2	統合失調症		
3	気分障害		
4	神経症性障害		
5	精神作用物質使用による精神・行動の障害		
6	摂食障害		
7	認知症		
8	パーソナリティ障害 発達障害 知的能力障害		
9	精神症状、状態像における看護：幻覚妄想状態 意欲減退		
10	精神症状、状態像における看護：強迫行為 攻撃的行動 拒否		
11	精神症状、状態像における看護：抑うつ状態 躁状態 依存状態		
12	認知行動療法		
13	集団精神療法 生活技能訓練		
14	精神疾患患者の治療（薬物療法）と看護		
15	精神疾患患者の治療（作業療法）と看護	講義・演習	

III. 使用テキスト・参考文献

精神看護学 I・II 南江堂

IV. 成績評価の方法

筆記試験、提出物等

授業科目名 精神看護方法論Ⅱ	第二看護学科 2年次 後期 1単位(30時間)
----------------	-------------------------------

I. 授業の目的・目標 (ねらい)

目的	1) 治療の場に応じた精神障害者への看護や社会資源の活用について理解する。 2) 地域における精神障害者への看護を理解する。 3) 行動制限と看護について理解する。 4) 精神障害者を対象にした看護過程を展開する。
目標	1) 病院および地域での看護が理解できる。 2) 行動制限の必要性和患者への看護が理解できる。 3) 地域生活を支える制度や支援が理解できる。 4) 地域で暮らす精神障害者の看護が理解できる。 5) セルフケア理論を基盤にした看護が理解できる。 6) 精神障害者への看護過程が、セルフケア理論で展開できる。

II. 授業計画

回	授業内容	講義・演習	備考
1	入院患者への退院支援 家族への看護	講義	
2	ストレンクス リハビリ		
3	長期入院患者への退院支援 セルフヘルプグループ		
4	患者の権利擁護：隔離・身体拘束		
5	保健医療に関する社会資源の活用：デイケア		
6	保健医療に関する社会資源の活用：訪問看護		
7	障害者総合支援法に基づくサービスとその活用		
8	精神障害者保健福祉手帳に基づくサービス		
9	セルフケア理論と看護		
10			
11	看護過程の展開	講義・演習	
12			
13			
14			
15			

III. 使用テキスト・参考文献

精神看護学Ⅰ・Ⅱ 南江堂

IV. 成績評価の方法

筆記試験、提出物等
